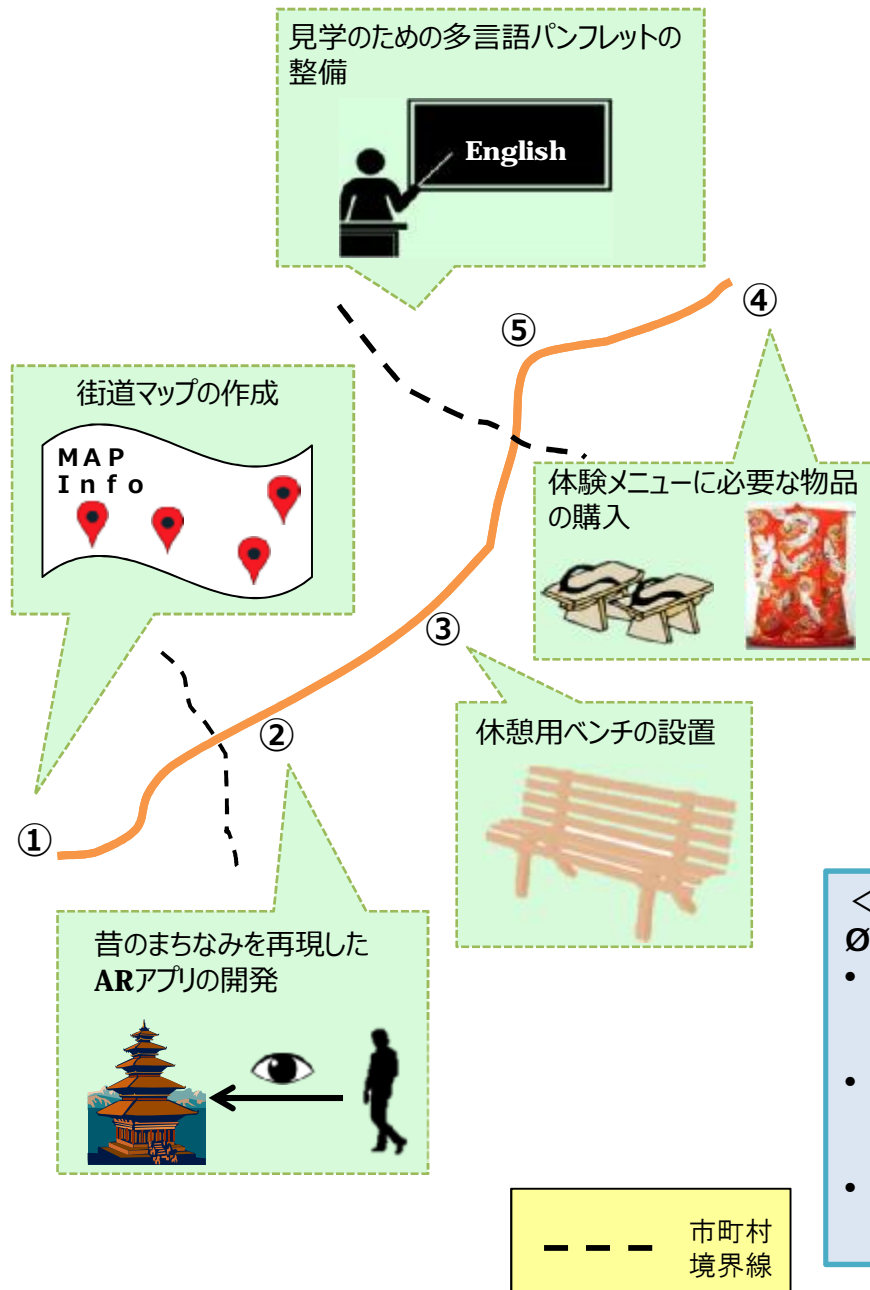


【単独テーマ例】 歴史



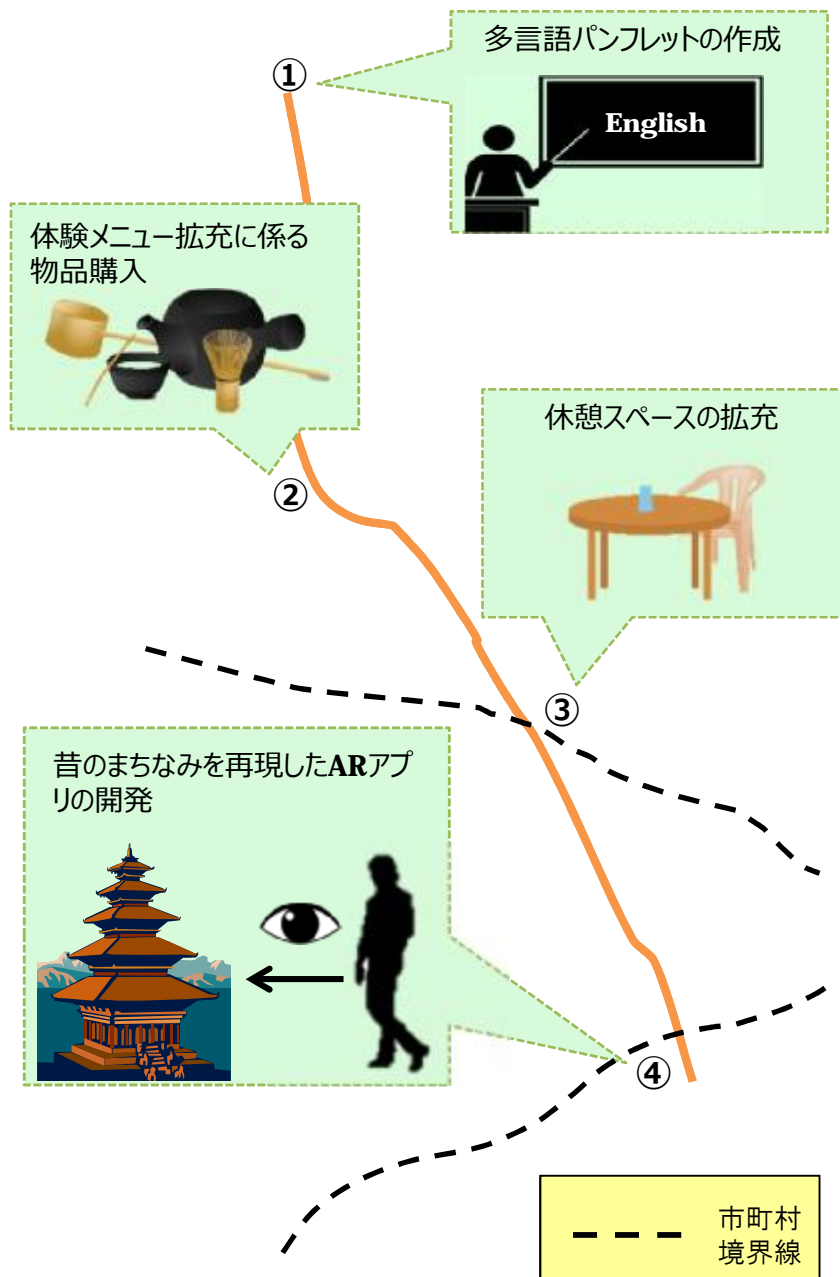
ストーリー区分	歴史（人物・街道・寺社等）
コンテンツ一覧	①〇〇街道（〇〇市） 整備内容： 街道全体のマップ整備
	②旧〇〇宿場町（〇〇市） 整備内容： 当時のまちなみを再現したARアプリの開発費
	③〇〇家住宅（〇〇市） 整備内容： 休憩スペース整備のための物品購入費
	④〇〇〇資料館（〇〇市） 整備内容： 体験メニュー実施に係る物品購入費
	⑤〇〇酒造（〇〇市） 整備内容： ・酒造見学のための多言語パンフレットの整備

<ストーリー例>

〇 江戸時代の行商人になりきり、街道を歩く

- 大阪は商都として、人・モノの往来が多かった土地である。人々は街道を通り、街と街を渡り歩き商売を行った。そのルートを、現代の私たちが訪ね歩く。
- 大阪は昔の面影は余り残っていないイメージがあるが、街道沿いを歩くと往時を偲ぶことができ、そこから当時の人々の生活や文化がみえてくる。
- 〇〇は名水で知られ、現代も酒造りが盛ん。名物も多いので寄り道しながら、電車で関空から京都に抜ける前に、当時の人のように歩いて道のりをたどってもらう。

【複数テーマ組合せ例】 ものづくり + 生活・文化・アート



ストーリー区分	ものづくり
コンテンツ一覧	①〇〇製作所（□□市） 整備内容： ものづくりの歴史や作業内容を解説するパンフレットの作成
	②〇〇センター（□□市） 整備内容： 体験メニューの拡充に必要な機材の購入経費

+

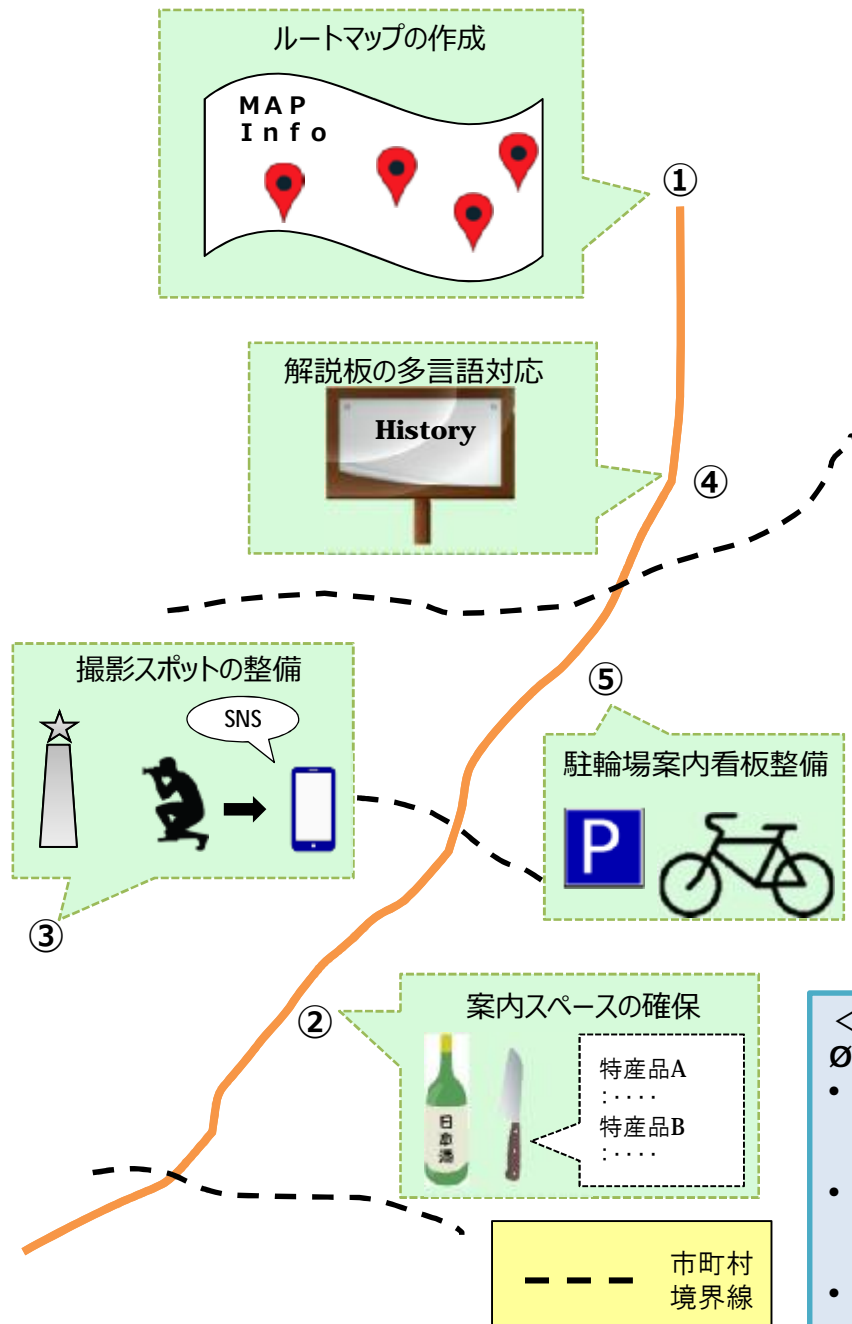
ストーリー区分	生活・文化・アート
コンテンツ一覧	③〇〇家住宅（□□市） 整備内容： 休憩スペース拡充のための備品の購入経費
	④〇〇寺内町（□□市） 整備内容： 昔の様子を再現したARアプリの開発費

<ストーリー例>

〇 「天下の台所」はいかにして生まれたのか

- 江戸時代に、日本全国から様々な物資の集積地として発展した大阪。日本の経済や物流を取り仕切る場所として名をはせた。
- その大阪の発展は、確かなものづくりの技術を持った人々に支えられ、その流れが今の大阪を支えている。
- 大阪の代名詞ともいえる「ものづくり」を軸に、現代に続く大阪をかたちづかった軌跡をたどってもらう。

【複数テーマ組合せ例】 スポーツ + 食 + 文化・生活・アート



ストーリー区分	スポーツ
コンテンツ一覧	①サイクルルート（〇〇市～〇〇市） 整備内容： ルートマップの作成

+

ストーリー区分	食
コンテンツ一覧	②〇〇産業会館（〇〇市） 整備内容： 観光客のための案内スペース確保に係る費用
	③〇〇漁港（〇〇市） 整備内容： 観光客向け撮影スポットに設置するモニュメントの整備

+

ストーリー区分	文化・生活・アート
コンテンツ一覧	④〇〇寺（〇〇市） 整備内容： 由緒書等を記載した解説板の多言語対応整備
	⑤〇〇商店街（〇〇市） 整備内容： 駐輪場の案内看板の整備

<ストーリー例>

〇〇サイクルツーリズム

- 大阪は日本有数の自転車製品の生産地であり、各市町も自転車を活用したまちづくりを進めている。
- 〇〇地域は歴史・文化・食・ものづくりのいずれにおいても高いポテンシャルを有しており、多種多様な観光資源を有している。
- 近年、台湾や欧米において自転車ツーリングが増加している状況をふまえ、大阪を自転車で周遊してもらい、電車やバスでは気付かない地域の魅力を発見してもらおう。